

## たくさんの応援、ボランティアに支えられ 名和マラソンフェスタ 2009



▲ 児玉監督がワンジュキ ジャコブ選手と共に参加したハーフマラソンスタートの様子。(ジャコブ選手は先頭選手を導き、終始余裕の走りをみせました)

今年で9回目になる名和マラソンフェスタが5月17日(日)、名和陸上競技場を発着点に開かれました。招待選手に愛知製鋼陸上部監督の児玉泰介さんを迎え、県内・中四国はもちろん、遠くは群馬県・大分県から参加があり、1,200人を超す過去最多の参加者となりました。

当日は、強風と小雨というあいにくの天候だったため、競技以外の開会式などは急ぎよ体育館に変更になりましたが、選手たちはマラソン(ハーフ・10キロ・5キロ)やジョギング、ウォーキングなどの合計16部門に別れてそれぞれの競技を楽しみました。

大山町からは、10キロ男子35歳以下の部でごうぎんクラブの田中聡さんが第10位、5キロ男子中学生以下の部で大山中学校の古儀暉衣さんが第3位、大山西小学校の金田浩太郎さんが第8位、5キロ女子中学生以下の部で中山小学校の山崎菜々子さんが第2位、名和小学校の佐藤加奈さんが第8位に入賞し、健闘が光りました。



▲ 笑顔でスタートするウォーキングの部の皆さん



▲ 10キロ折り返し点の第1給水所の県漁協御来屋支所前

## 大人だって学んでます 大山カレッジ 第2回入学式

4月23日、中山中学校で大山カレッジの入学式が行われました。中学校の空き教室を利用した「大山カレッジ」は、大人のための学校として昨年度開校し、3月に第1期生12人が学習を修了しました。今年も継続して7人が、そして新たに8人が入学し、教育長をはじめ講師や関係者から祝福を受けました。式では近藤盛一校長が「個人の目標は違いますが、同じ課題に取り組む特殊な場所です。思う存分学習に励んでください」とあいさつしました。また新入生を代表して提嶋俊行さん(86)が「1年間、皆と一致団結して期待に応えられるようながんばっていきます」と宣誓しました。

これから毎週木曜日の午前中、学校の学習時間と学期に合わせ、国語、数学、英語、音楽、芸術、体育などの授業が行われます。



▲入学式で気持ちを新たにカレッジ2期生の皆さん